

第 41 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ：湿地環境の維持管理—

今回の研修会は、引き続き湿生生態園の植生管理作業と、かつては谷戸山公園でも生息が確認されていたホトケドジョウのビオトープとして、谷戸の湿生地の管理作業を行いました。



9月の研修会も天気に恵まれ、座間谷戸山公園ではヒガンバナがきれいに咲いていました。



今回はビオトープの試験を5日後に控えていたにもかかわらず、多くの受講生が参加してくれました。



午前は湿生生態園で植生管理作業です。
この時期はまだ植物の生長が早く、やはりヨシが優先して生長してきます。それを刈り取ることで、他の植物も出てきやすいようにしてあげれば、少しずつ多様な環境になっていくはずです。



途中、湿生生態園にある植物について簡単な調査を行い、これまでのリストと比較してみました。



今までのヨシ刈り作業の甲斐もあってか、これまでリストになかったヒメジソ等の植物も見られました。



お昼休みの後は、最近恒例になった、気になる環境関連記事の発表です。ビオトープ管理士として、色々なことにアンテナを張っておくことも大切です。



午後の研修は、ホトケドジョウのビオトープ再生として7月にも作業をした棚田状の湿生地で、再びヨシとミゾソバを刈りました。ここはヨシとミゾソバに水面が覆われていて、7月に刈った時と比べても、既に水面が全く見えない状況でした。(左が7月の作業終了後。右が今月の作業前。)



さっそく作業開始です。
ノコギリ鎌を使ってどんどん刈っていきます。



2種以外にも大きなガマが出てきていました。
ガマもヨシと同じように地下茎を伸ばしてどんどん
繁殖していくため、ある程度刈り取っておきます。



この湿生地はちょうど野鳥観察小屋の目下
にあります。水面があれば、園内に営巣している
オオタカの水浴び場にもなるかもしれません。



もちろん、ヨシ、ミゾソバ、ガマ以外にも
色々な植物がちゃんと生育しています。

写真はオモダカです。



作業を行っている合い間に、誰かがヤゴを
見つけました。これはギンヤンマのヤゴです。
7月に採取したものよりだいぶ体は大きかったです。



これで作業終了です。
参加された受講生の皆さん、おつかれさまでした！

10月の研修会は、ホトケドジョウのビオトープ再生を中心に行っていきます。いつも参加されている方はもちろん、まだ参加されたことのない方や、久しく参加していない方も是非ご参加ください。お待ちしております！